

科目名	コミュニケーション英語Ⅲ		学年・必修	3年	必修	使用教科書	Landmark Fit English Communication Ⅲ (啓林館)			
			単位数	3		使用副教材	Landmark Fit English Communication Ⅲ 学習完成ノート]			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動及びこれら結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る基礎的な資質・能力を身に付ける。</li> <li>●物事に関する紹介や対話や説明・物語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえ、それに基づいて情報や考えなどについて話し合ったり、意見を交換したり、簡潔に書くことができる。</li> </ul>									
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的にAll Englishで授業を行います。</li> <li>●英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん聞かせて、たくさん学びましょう。</li> <li>●英単語はインプット（覚える）とアウトプット（確認する）を何度も繰り返して覚えましょう。継続は力になります。</li> <li>●英単語や英文の意味は和訳するのではなく、英語で考え英語で説明できるように意識した方が、効率よく英語を吸収できます。</li> <li>●文法は定本文を暗唱し、なぜそういう構造なのかを理解することで、より深い知識を身に付けることができます。</li> <li>●発表する際は、原稿を丸暗記するのではなく、話す内容を理解し、流れや要点を押さえて自分の言葉で発表できるようにする癖を意識して付けることで、英語のスピーキング力が飛躍的に上がります。</li> <li>●スタディサプリを活用して、吾手問題を閲覧したり、模定対策をしたり、大学入試に備えましょう。</li> </ul>									
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		評価方法		割合（%）			
	a	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		1	振り返りシート、授業態度	授業への取り組み具合で評価します。	5		
	b	外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。		2	発表の成果	スピーチ、ディベート、ディスカッション等活動のパフォーマンスを評価します。	25		
	c	外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。		3	音読、小テスト	概要を把握するか、詳細を把握するかなどを主に考查で評価します。	45		
	d	言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。		4	小テスト、考查	英語の運用の下支えとなる知識やその理解を主に小テストで評価します。	25		
評価の観点	自己学習の状況 (自己)	協力的な探究の時間	コミュニケーション英語Ⅲでは、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合う力の育成を目指している。町おこしワークショップ等のプレゼンテーショングループ討議の機会でもその能力を活用できる。							
前期	月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価				身に付けられる Okashirity 5.0	
	4	1. 自己紹介・シラバスの確認 2. 習熟度クラス分けテスト 3. Lesson 1 Emperor Penguins	1 1 3	1. 自己紹介し、質疑できる 2. 習熟度を確認する 3. コロライベンギンの身体的特徴や能力、生息場所、集団行動とその理由、子育ての仕方、ファーストペンギンについて理解し、説明できる。	○ 1	○ 2 3	○ 4	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 自分の伸びしろを確認しよう。 3. 内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	デザイン力	
	5	1. Lesson 2 Caffeine 2. Lesson 3 Blood Is Blood	6 7	1. カフェインの日常的な使用と効果、文化の関わり、健康被害の可能性、効果的な摂取量、利点について理解し、発表する。 2. 当時の黒人差別の実態、ドルーが発見した輸血方法、黒人差別と闘うドルーの主張、活動を通じてドルーが証明したことを理解し、説明できる。		○ 1 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	自己管理能力
	6	Lesson 4 Biomimetics Lesson 5 Communication without Words	6	1. 当時の黒人差別の実態、ドルーが発見した輸血方法、黒人差別と闘うドルーの主張、活動を通じてドルーが証明したことを理解し、説明できる。 2. バイオミメティクスとは何か、新幹線に用いられたバイオミメティクス、注射針に用いられたバイオミメティクス、無生物によるバイオミメティクスの事例を理解し、説明できる。		○ 1 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	情報活用能力
	7	Lesson 6 Christmas Truce	6	第一次世界大戦下の英・独の戦場の様子、クリスマスイブを祝う両軍の様子、クリスマス期間の停戦と両軍の交流、クリスマス休戦が伝えるメッセージを理解し、説明できる。		○ 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	チーム力
	8	Lesson 7 Political Correctness	6	差別や偏見のない用語の使用が推奨されていること、だれにも不快感を与えない用語を使うことの難しさについて、行き過ぎた用語制限に潜む問題、正しい用語の使い方は次の世代にかかっていることを理解し、説明できる。		○ 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	ひらめき力
	9	Lesson 8 Global Water Crisis	6	世界的な水不足が起きていること、人口増加や生活水準の向上、地球温暖化が水不足の原因となっていること、日本も大きく関わる輸出と水不足の関係や仮想水、日本が取るべき水不足への対策について理解し、説明できる。		○ 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	当事者意識
	10	Lesson 9 Animal Math	10	動物には生まれ、数学的な能力が備わっていること、イヌはボールまでの最短距離を計算できることが実験からわかったこと、霊長類は数の違いを理解していることが実験からわかったこと、動物は自然界で生き残るために数学を用いてきたことを理解し、説明できる。		○ 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	実践力
	11	Lesson 10 The Poorest President in the World	12	ワルグアイの元大統領ムヒカが質素な生活と彼が述べた貧しさの定義について、ムヒカが演説で指摘した環境問題と消費社会の関わりについて、ムヒカが考える発展と幸福の関わり、消費社会の実態とそれに関するムヒカの考えを理解し、説明できる。		○ 2	○ 1 3	○ 4	内容理解と発表をつなぐリテリングを通じて、英語の基礎力を身につけよう。	デザイン力
	後期	12	初見英文	10	ニュースや本の一節などを読み、理解する。また、自身の感想を英語で発表する。		○ 2	○ 1 3		授業で培った英語力を初見でどれくらい対応できるのかを試します。音読からの英語の学習習慣が現われるところまで。出会った知らない単語やフレーズは覚えておきましょう。
1		初見英文	10	ニュースや本の一節などを読み、理解する。また、自身の感想を英語で発表する。		○ 2	○ 1 3		授業で培った英語力を初見でどれくらい対応できるのかを試します。音読からの英語の学習習慣が現われるところまで。出会った知らない単語やフレーズは覚えておきましょう。	発信力
7.11.2		スピーキング演習	3	与えられた題材について自分の意見を即興で述べるができる。		○ 2			与えられた題材について即座に自分の考えをまとめ、理由やその根拠を述べることができる。	レジリエンス力
6.6.11		ライティング演習	3	一定の題材について、「つながり」と「まとまり」のある英文を書くことができる。抽象と具体、指図の使い方を理解し、自身のライティング能力を向上させる。		○ 2			パラグラフライティングをする機会を設けますので、論理の流れを言葉で表現できるように語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	課題発見力
4~3		ディスカッション	毎レッスン15分程度	与えられた題材について自分の意見を述べたり、役割に応じてロールプレイを行うことで、ディベートにつながる基礎力を養う。	○ 1				発表の後は、振り返りの時間をとることがあります。考えたこと、思いがかったけど考えなかったことを話し、話せることで少しずつ話せる英語が増えていきます。	完遂力